

八王子市国民健康保険  
特定健康診査、特定保健指導等  
アンケート調査結果報告書

平成25年3月  
八王子市

## 調査の概要

---

「第2期特定健康診査等実施計画」の策定にあたり、基礎資料を得ること及び特定健康診査対象者の意識や意向などを把握することのため、アンケート調査を実施しました。

- 対象者  
八王子市国民健康保険被保険者のうち、平成20－23年度の4年間に一度も特定健康診査を受診していない方から、無作為に3,000人を選び対象者としました。
- 配布物  
送付状  
調査票  
返信(回収)用封筒
- 配布方法  
上記の配布物を受診者ごとに1つの封筒に封入封緘し、被保険者本人あてに送付しました。
- 発送日  
平成24年9月11日
- アンケート返信締切日  
平成24年9月30日
- 特典の付与  
アンケートを返送した方に、特典として腹囲測定用のメジャーを送付しました。
- 礼状兼特典発送日  
平成24年11月15日

## アンケート回収率及び属性等について

アンケート回収率は、26.0%(780/3,000通)でした。

回収したアンケートのうち、41.9%が男性、55.6%が女性となっています。

さらに年代別でみると、男女ともに60歳代の占める割合が最も大きく、男性40歳代の占める割合が最も小さくなっていました。

性別	年代	発送数	回収数	回収率(%)	回収数に占める割合(%)
全体		3000	780	26.0	100.0
男性	計	1500	327	21.8	41.9
	40歳代	500	53	10.6	6.8
	50歳代	500	84	16.8	10.8
	60歳代	500	188	37.6	24.1
	無回答	—	2	—	0.3
女性	計	1500	434	28.9	55.6
	40歳代	500	100	20.0	12.8
	50歳代	500	141	28.2	18.1
	60歳代	500	189	37.8	24.2
	無回答	—	4	—	0.5
無回答		—	19	—	2.4

## アンケート結果

- ※ 集計・分析結果において、割合(%)は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ※ 複数回答が可能な設問の場合、割合の合計が100%を超える場合があります。

## アンケートの構成について－1

アンケートは以下の構成となっています。

質問番号	目的	質問
1	健康状態・健康意識の把握	現在の健康状態についてご回答ください。
2		過去1年間に病気やケガなどで、何回くらい医療機関にかかりましたか。
3		健康づくりのために注意されていることはありますか。
4		メタボリックシンドロームにより、生活習慣病が発症する危険性が高くなることをご存知ですか。
5		メタボリックシンドロームは、食生活や運動の面などから改善を行えば、解消できる可能性が高くなることをご存知ですか。
6	特定健康診査の認知度等の把握	特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目した健康診査で、生活習慣病の予防を図ることを目的としていることをご存知ですか。
7		市が実施した特定健康診査を受診されなかった理由についてご回答ください。
8		問7で「5. その他の理由で受診しなかった」と回答された方にお尋ねします。受診しなかった理由についてご回答ください。

## アンケートの構成についてー2

アンケートは以下の構成となっています。

質問番号	目的	質問	
9	特定健康診査の 受診率向上に向けた ニーズの把握	八王子市の特定健康診査を受診されているのは対象者の45%の方です。より多くの方に受診していただくにはどのようにしたらよいと思われませんか。	
10		あなたが特定健康診査を受診しやすい条件を教えてください。	
11		あなたが特定健康診査を最も受診しやすい平日の時間帯を教えてください。	
12		特定健康診査は、無料で受診できることをご存知ですか。	
13	特定保健指導の 認知度等の把握	特定保健指導は、特定健康診査によりメタボリックシンドロームと判定された方を対象に保健師、管理栄養士といった専門職が食生活や運動の面などから改善のための支援を行うものであることをご存知ですか。	
14		もし、あなたが特定保健指導の対象者となった場合、どのような特定保健指導ならご利用したいと思われませんか。	
		14-1	(内容について)
		14-2	(人数について)
15	特定保健指導は、無料でご利用できることをご存知ですか。		

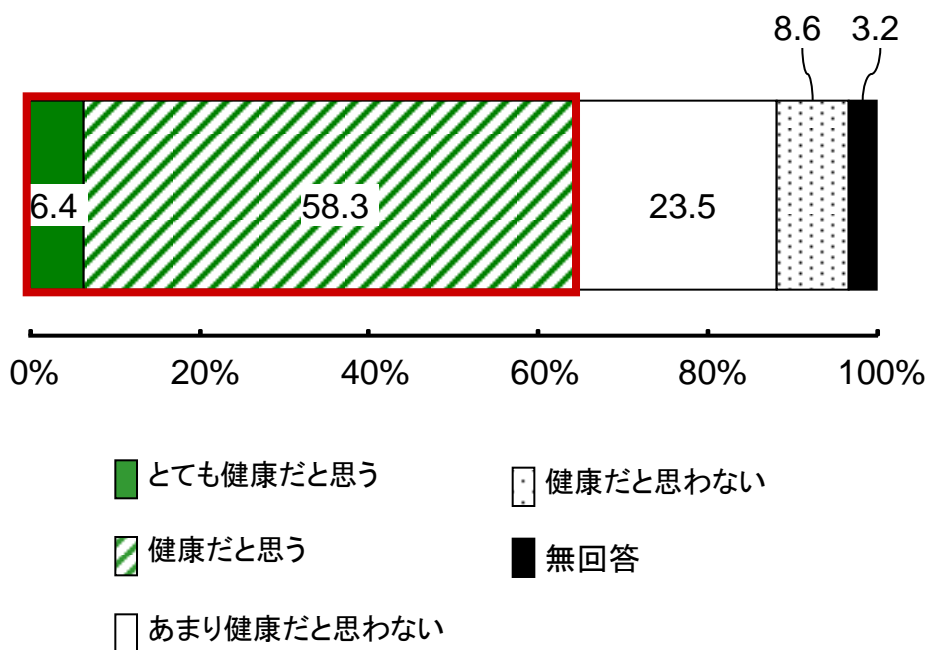
---

結果－健康状態・健康意識の把握

## 結果－問1

自身を健康だと認識している(とても健康だと思う+健康だと思う)方が64.7%を占めています。

問1 現在の健康状態についてご回答ください。(一つに○をしてください)





## 結果詳細一問1

男女別にみると、自身を健康だと認識している(とても健康だと思う+健康だと思う)方はほぼ同率(男性66.0%、女性66.3%)となっています。

さらに年代別にみると女性の40歳代において自身を健康だと認識している方が最も多く(72.0%)、男性の50歳代が最も少なくなっています(63.1%)。

問1 現在の健康状態についてご回答ください。(一つに○をしてください)

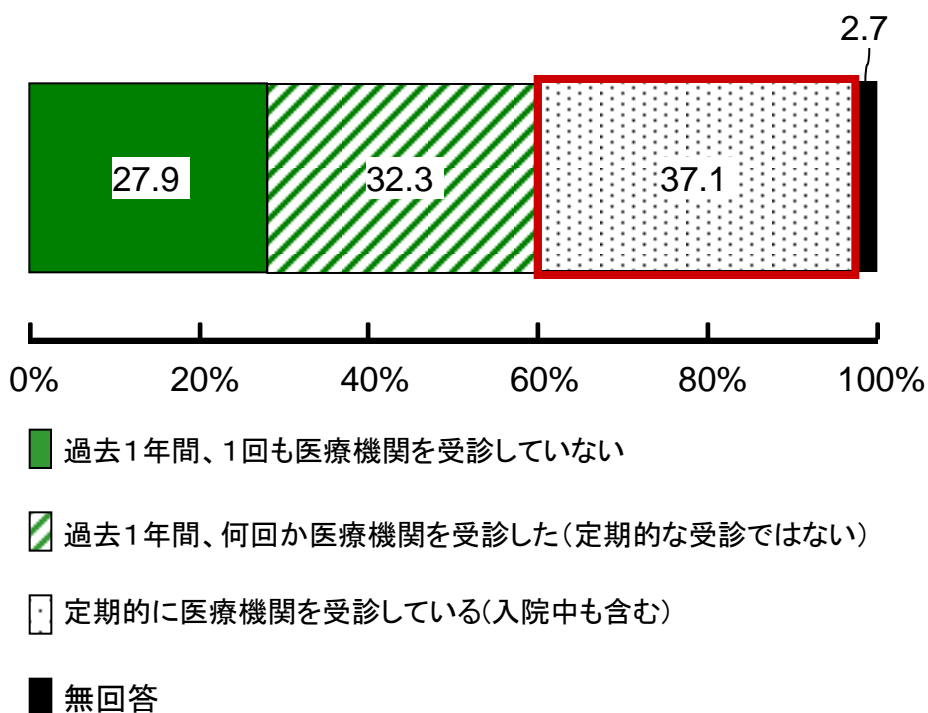
性別	年代	とても健康だと思う	健康だと思う	あまり健康だと思わない	健康だと思わない	無回答	回答数
全体(性・年代未回答者含む)		6.4	58.3	23.5	8.6	3.2	780
男性 計(年代未回答者含む)		6.1	59.9	23.9	9.5	0.6	327
	40歳代	5.7	64.2	28.3	1.9	0.0	53
	50歳代	1.2	61.9	26.2	10.7	0.0	84
	60歳代	8.5	58.0	21.3	11.2	1.1	188
女性 計(年代未回答者含む)		6.9	59.4	23.7	8.3	1.6	434
	40歳代	9.0	63.0	26.0	1.0	1.0	100
	50歳代	5.0	58.2	27.0	8.5	1.4	141
	60歳代	6.9	59.3	19.6	12.2	2.1	189

回答数以外の数値についての単位は%

## 結果－問2

定期的に医療機関を受診している方は37.1%となっています。

問2 過去1年間に病気やケガなどで、何回くらい医療機関にかかりましたか。  
(一つに○をしてください)



## 結果詳細一問2

男女別にみると、定期的に医療機関を受診している方の割合は男性の方がわずかに多くなっています(男性38.5%、女性37.6%)。

性年代別にみると、定期的に医療機関を受診している方の割合は女性60歳代が最多であり(48.1%)、男性40歳代が最少となっています(17.0%)。

問2 過去1年間に病気やケガなどで、何回くらい医療機関にかかりましたか。  
(一つに○をしてください)

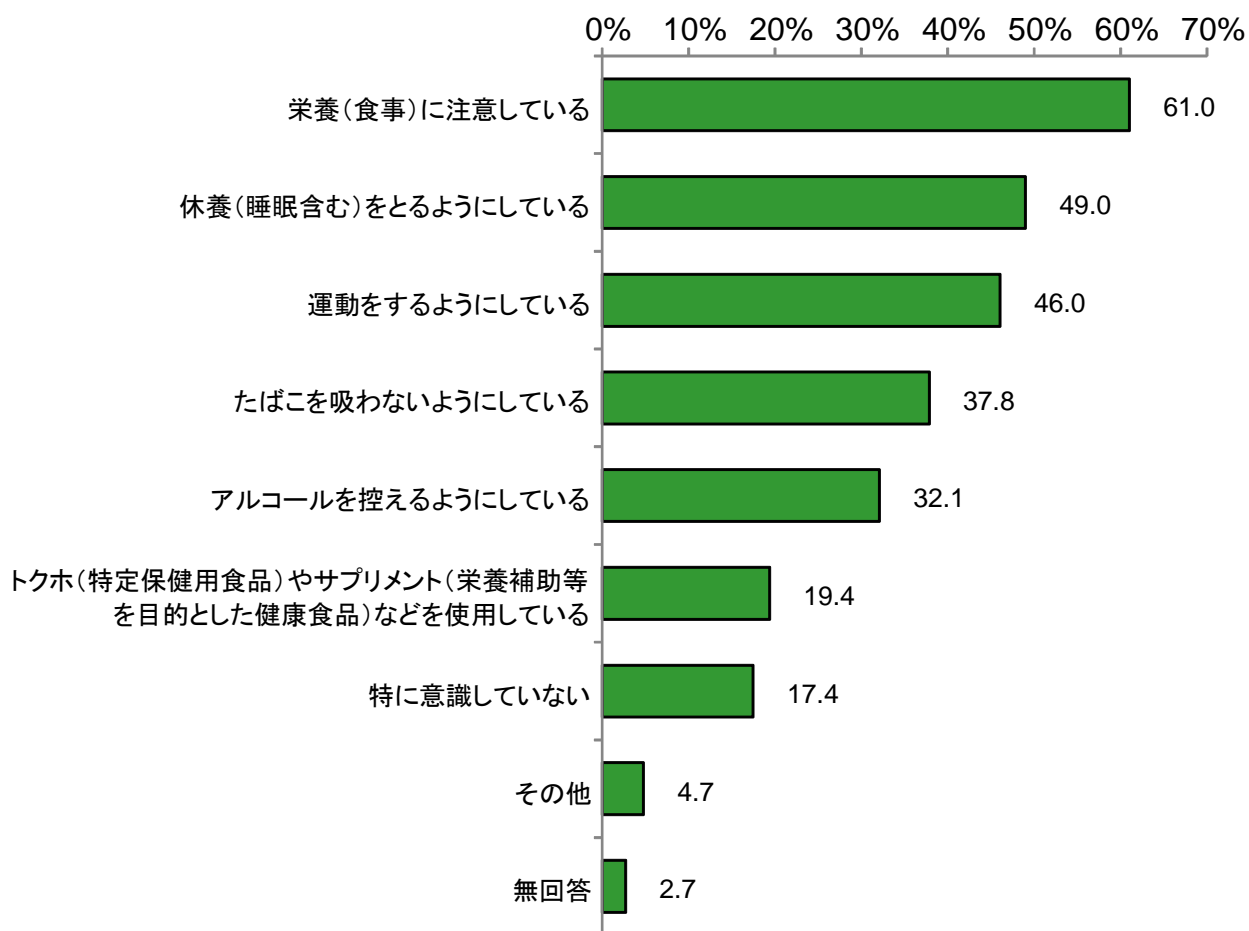
性別	年代	過去1年間、 1回も医療機 関を受診して いない	過去1年間、 何回か医療 機関を受診し た(定期的な 受診ではな い)	定期的に医 療機関を受 診している(入 院中も含む)	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	27.9	32.3	37.1	2.7	780
男性	計(年代未回答者含む)	32.1	29.4	38.5	0.0	327
	40歳代	39.6	43.4	17.0	0.0	53
	50歳代	40.5	27.4	32.1	0.0	84
	60歳代	26.1	26.1	47.9	0.0	188
女性	計(年代未回答者含む)	25.3	35.7	37.6	1.4	434
	40歳代	27.0	45.0	26.0	2.0	100
	50歳代	24.8	40.4	32.6	2.1	141
	60歳代	24.3	27.0	48.1	0.5	189

回答数以外の数値についての単位は%

## 結果－問3

健康づくりのために注意していることとしては、栄養(食事)面が最多であり、休養(睡眠含む)面、運動面がそれに続いています。

問3 健康づくりのために注意されていることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○をしてください)



割合: 回答数 / 全回答者数

## 結果詳細－問3

男女別にみると、男性は栄養→運動→休養、女性は栄養→休養→運動の順に多くなっています。

さらに年代別にみると、男性は50歳代のみ栄養→休養→禁煙の順に多く、40歳代・60歳代は栄養→運動→休養の順に多くなっています。また40歳代はトクホを使用していると回答している方が1.9%と非常に少なく、健康づくりを特に意識していないと回答している方が32.1%と最多となっています。女性は全年代ともに栄養→休養→運動の順に多く、特に60歳代は73.5%の方が栄養に注意していると回答しています。

問3 健康づくりのために注意されていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

性別	年代	栄養(食事)に注意している	運動をするようにしている	休養(睡眠含む)をとるようにしている	たばこを吸わないようにしている	アルコールを控えるようにしている	トクホ(特定保健用食品)やサプリメント(栄養補助等を目的とした健康食品)などを使用している	特に意識していない	その他	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	61.0	46.0	49.0	37.8	32.1	19.4	17.4	4.7	2.7	780
男性	計(年代未回答者含む)	57.8	46.2	44.6	41.0	30.3	15.6	20.8	3.7	0.9	327
	40歳代	47.2	39.6	37.7	34.0	26.4	1.9	32.1	3.8	1.9	53
	50歳代	53.6	33.3	41.7	41.7	25.0	20.2	23.8	6.0	1.2	84
	60歳代	62.2	53.7	47.3	43.1	34.0	17.6	16.5	2.7	0.5	188
女性	計(年代未回答者含む)	65.7	47.7	54.1	36.9	34.8	23.0	15.2	5.8	0.7	434
	40歳代	53.0	39.0	49.0	41.0	35.0	22.0	18.0	8.0	1.0	100
	50歳代	63.8	41.1	48.2	33.3	29.8	28.4	15.6	5.0	0.7	141
	60歳代	73.5	56.6	60.3	37.0	38.1	19.6	13.2	5.3	0.5	189

回答数以外の数値についての単位は%

(参考)問3-「その他」について

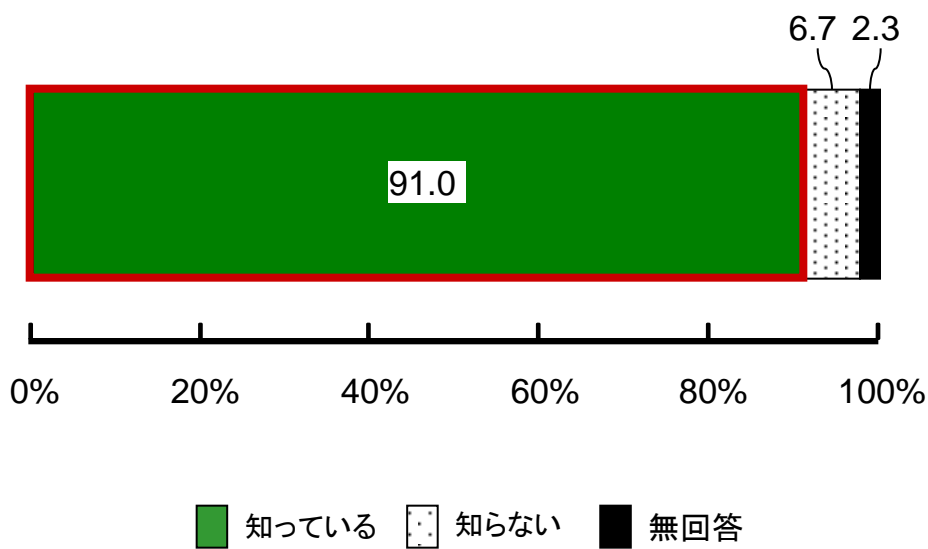
---

主な内容	件数(件)	割合(%)
ストレス	7	20.0
医療	6	17.1
運動	5	14.3
良習慣	4	11.4
理由があって取り組んでいない	4	11.4
食事	4	11.4
体調管理	3	8.6
サプリメント	2	5.7
総計	35	100.0

## 結果－問4

メタボリックシンドロームにより、生活習慣病が発症する危険性が高くなることを知っていると回答した方は91.0%を占めています。

問4 メタボリックシンドロームにより、生活習慣病が発症する危険性が高くなることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)



## 結果詳細一問4

男女ともにメタボリックシンドロームにより生活習慣病が発症する危険性が高くなることを知っているという回答が9割を超えています(男性91.7%、女性93.8%)。

年代別にみると男性の40歳代のみ88.7%と9割に満たないものの、他の年代は全て9割超が知っているという回答しています。

問4 メタボリックシンドロームにより、生活習慣病が発症する危険性が高くなることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)

性別	年代	知っている	知らない	無回答	回答数
全体(性・年代未回答者含む)		91.0	6.7	2.3	780
男性 計(年代未回答者含む)		91.7	8.0	0.3	327
	40歳代	88.7	11.3	0.0	53
	50歳代	94.0	4.8	1.2	84
	60歳代	92.0	8.0	0.0	188
女性 計(年代未回答者含む)		93.8	5.8	0.5	434
	40歳代	92.0	8.0	0.0	100
	50歳代	95.7	3.5	0.7	141
	60歳代	93.7	6.3	0.0	189

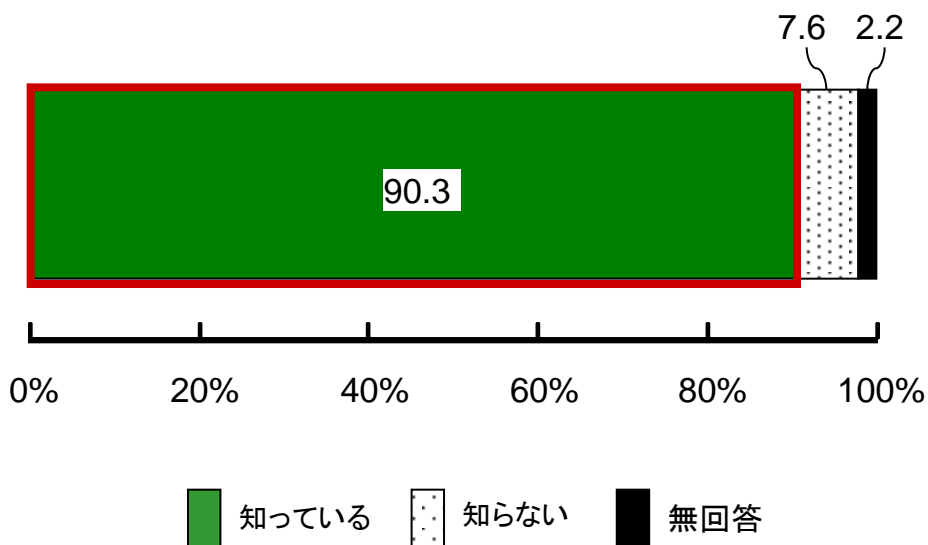
回答数以外の数値についての単位は%



## 結果－問5

メタリックシンドロームは食生活や運動の面などから改善を行えば解消できる可能性が高くなることを知っているとは回答した方は90.3%を占めています。

問5 メタリックシンドロームは、食生活や運動の面などから改善を行えば、解消できる可能性が高くなることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)



## 結果詳細一問5

男女別にみると、女性の方が「知っている」と回答している方が多くなっています。  
年代別にみると、男女ともに40歳代において「知っている」と回答している方の割合が最も少なくなっています。

問5 メタボリックシンドロームは、食生活や運動の面などから改善を行えば、解消できる可能性が高くなることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)

性別	年代	知っている	知らない	無回答	回答数
全体(性・年代未回答者含む)		90.3	7.6	2.2	780
男性	計(年代未回答者含む)	91.7	8.0	0.3	327
	40歳代	88.7	11.3	0.0	53
	50歳代	94.0	4.8	1.2	84
	60歳代	92.0	8.0	0.0	188
女性	計(年代未回答者含む)	92.6	7.1	0.2	434
	40歳代	89.0	11.0	0.0	100
	50歳代	92.2	7.1	0.7	141
	60歳代	94.7	5.3	0.0	189

回答数以外の数値についての単位は%

## 結果まとめ－健康状態・健康意識の把握

- 自身を健康だと認識している(とても健康だと思う+健康だと思う)方が64.7%を占めています。(問1)
- 定期的に医療機関を受診している方は37.1%となっています。(問2)
  - 結果より見えてくる未受診者像として、以下の2つが考えられます。
    1. 健康なので必要を感じず、健診を受診しない。
    2. 医療機関に通院しているので健診を受診しない。
  - 1は若い層に多く、年代が上がると共に2の割合が増えていることが予想されます。
- 健康づくりのために注意していることとしては、栄養(食事)面が最多であり、休養(睡眠含む)面、運動面がそれに続いています。男女別にみると、男性は栄養→運動→休養、女性は栄養→休養→運動の順に多くなっています。年代別にみると、男性40歳代は健康づくりを特に意識していないと回答している方が32.1%と最多となっています。(問3)
  - 栄養(食事)は全ての層に渡って関心が高く、運動については男性の方が関心が高くなっています。ただし、男性40歳代について健康づくりを特に意識していない方が多い理由は本人自身に自覚症状がなく、周囲にも心筋梗塞等の重症疾患を発症している方がいないため、気づきを得るきっかけがないからだと予想されます。
- メタボリックシンドロームにより、生活習慣病が発症する危険性が高くなることを知っているとは回答した方は91.0%を占めています。(問4)
- メタボリックシンドロームは食生活や運動の面などから改善を行えば解消できる可能性が高くなることを知っているとは回答した方は90.3%を占めています。(問5)
  - メタボリックシンドローム及び、その改善方法については特定健診未受診者であっても、十分に認知されているようです。

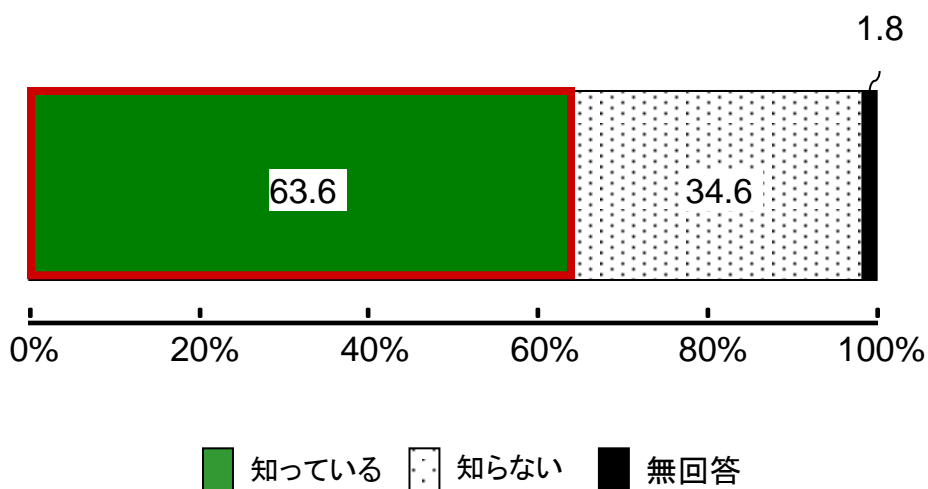
---

結果－特定健康診査の認知度等の把握

## 結果－問6

特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目した健康診査で、生活習慣病の予防を図ることを目的としていることを知っていると回答した方は63.6%となっています。

問6 特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目した健康診査で、生活習慣病の予防を図ることを目的としていることをご存知ですか。（どちらかに○をしてください）



## 結果詳細一問6

男女別にみると、女性の方が「知っている」と回答している方が多くなっています(男性58.7%、女性68.0%)。

さらに年代別にみると、男女ともに年代とともに「知っている」の割合が増加しています。なお、男性40歳代に関しては「知っている」の割合を「知らない」の割合が上回っています。

問6 特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目した健康診査で、生活習慣病の予防を図ることを目的としていることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)

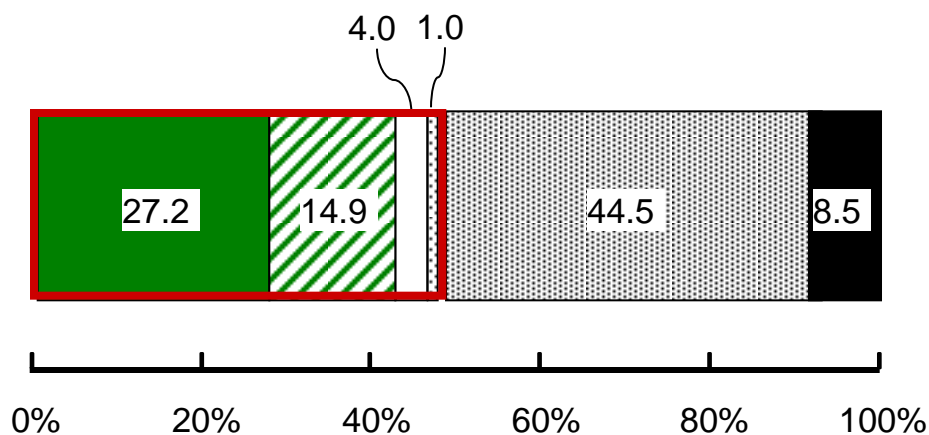
性別	年代	知っている	知らない	無回答	回答数
全体(性・年代未回答者含む)		63.6	34.6	1.8	780
男性	計(年代未回答者含む)	58.7	39.4	1.8	327
	40歳代	47.2	52.8	0.0	53
	50歳代	59.5	38.1	2.4	84
	60歳代	62.2	35.6	2.1	188
女性	計(年代未回答者含む)	68.0	30.9	1.2	434
	40歳代	63.0	37.0	0.0	100
	50歳代	67.4	31.2	1.4	141
	60歳代	70.4	28.0	1.6	189

回答数以外の数値についての単位は%

## 結果－問7

特定健康診査を受診していない理由として、他所で経過観察されている理由を挙げる方(かかりつけ医で定期的に検査している+職場の健診を受診+人間ドックを受診+老人ホーム等に入所・医療機関に入院)は47.1%を占めています。

問7 市が実施した特定健康診査を受診されなかった理由についてご回答ください。  
(一つに○をしてください)



- 27.2 かりつけ医で定期的に検査しているから
- 14.9 職場の健診を受診したから
- 4.0 人間ドックを受診したから
- 1.0 老人ホーム等に入所・医療機関に入院しているから
- 44.5 その他の理由で受診しなかった
- 8.5 無回答

## 結果詳細一問7

男女別にみると、他所で経過観察されている理由を挙げる方(かかりつけ医で定期的に行っている+職場の健診を受診+人間ドックを受診+老人ホーム等に入所・医療機関に入院)は、男性の方が多くなっています(男性49.8%、女性45.6%)。

年代別にみると、男女ともに年代が上がるると他所で経過観察されている理由を挙げる方の割合が増加しています。

問7 市が実施した特定健康診査を受診されなかった理由についてご回答ください。(一つに○をしてください)

性別	年代	かかりつけ医で定期的 に検査しているから	職場の健診を受診した から	人間ドックを受診した から	老人ホーム等に入所・ 医療機関に入院してい るから	その他の理由で受診し なかった	無回答	回答数
全体 (性・年代未回答者含む)		27.2	14.9	4.0	1.0	44.5	8.5	780
男性	計(年代未回答者含む)	29.1	17.4	2.1	1.2	41.6	8.6	327
	40歳代	13.2	22.6	1.9	1.9	54.7	5.7	53
	50歳代	23.8	19.0	3.6	1.2	42.9	9.5	84
	60歳代	36.2	14.4	1.6	1.1	37.8	9.0	188
女性	計(年代未回答者含む)	25.8	13.6	5.3	0.9	46.8	7.6	434
	40歳代	13.0	13.0	2.0	1.0	67.0	4.0	100
	50歳代	19.9	19.1	5.0	1.4	48.2	6.4	141
	60歳代	37.6	9.5	7.4	0.5	34.4	10.6	189

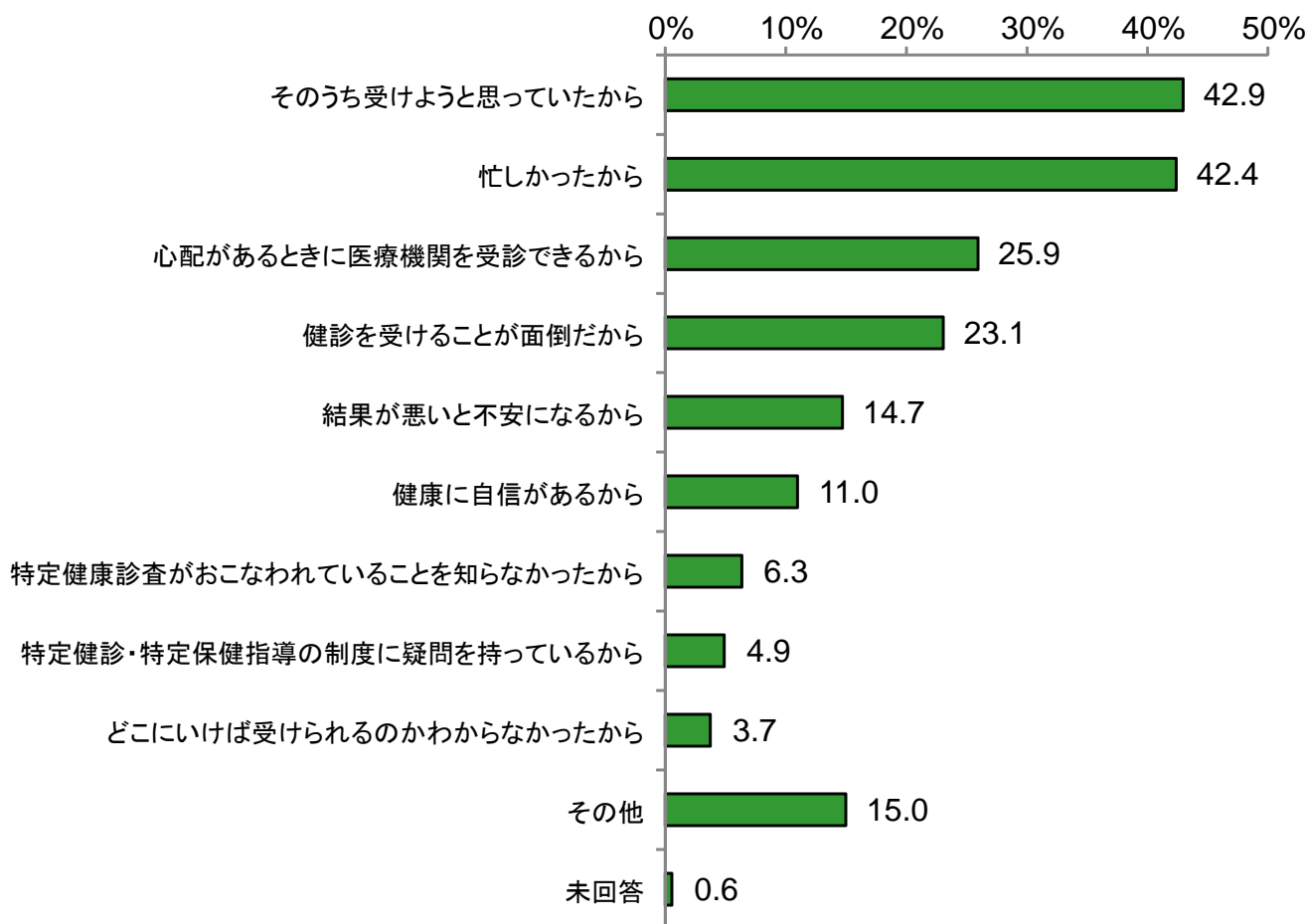
回答数以外の数値についての単位は%



## 結果－問8

特定健康診査を受診していない理由として「その他の理由で受診していない」と回答した方の理由として、そのうち受けようと思っていた、忙しかった、という理由を挙げる方がそれぞれ42.9%、42.4%と多く、心配があるときに医療機関を受診できるから、という方が25.9%とそれに次ぎます。

問8 問7で「5. その他の理由で受診しなかった」と回答された方にお尋ねします。受診しなかった理由についてご回答ください。（あてはまるもの三つまでに○をしてください）



割合：回答数／全回答者数

## 結果詳細一問8

男女別にみると、男性は「忙しかった」→「そのうち受けようと思っていた」→「健診を受けることが面倒だから」の順に多いのに対し、女性は「そのうち受けようと思っていた」→「忙しかった」→「心配があるときに医療機関を受診できるから」の順に多くなっています。

年代別にみると、男性において「忙しかった」の割合は年代が上がるごとに減少し、一方「そのうち受けようと思っていた」、「健診を受けることが面倒だから」が増加しています。女性においては「そのうち受けようと思っていた」の割合は年代が上がるごとに減少し、「心配があるときに医療機関を受診できるから」が増加しています。

問8 問7で「5. その他の理由で受診しなかった」と回答された方にお尋ねします。受診しなかった理由についてご回答ください。（あてはまるもの三つまでに○をしてください）

性別	年代	心配があるときに医療機関を受診できるから	そのうち受けようと思っていたから	忙しかったから	どこにいけば受診できるのかわからなかったから	特定健康診査が行われていることを知らなかったから	健診を受けることが面倒だから	結果が悪いと不安になるから	健康に自信があるから	特定健診・特定保健指導の制度に疑問を持っているから	その他	未回答	回答数
全体(性・年代未回答者含む)		25.9	42.9	42.4	3.7	6.3	23.1	14.7	11.0	4.9	15.0	0.6	347
男性 計(年代未回答者含む)		16.9	36.8	45.6	5.1	7.4	25.7	9.6	13.2	4.4	16.9	0.0	136
	40歳代	13.8	31.0	58.6	6.9	10.3	17.2	6.9	17.2	0.0	17.2	0.0	29
	50歳代	22.2	38.9	50.0	11.1	8.3	27.8	11.1	5.6	5.6	13.9	0.0	36
	60歳代	15.5	38.0	38.0	1.4	5.6	28.2	9.9	15.5	5.6	18.3	0.0	71
女性 計(年代未回答者含む)		31.5	47.8	41.4	3.0	4.9	20.2	16.7	9.4	5.4	14.3	1.0	203
	40歳代	22.4	53.7	49.3	3.0	4.5	16.4	10.4	4.5	6.0	14.9	0.0	67
	50歳代	22.1	50.0	50.0	2.9	4.4	22.1	22.1	5.9	2.9	13.2	1.5	68
	60歳代	50.8	40.0	23.1	1.5	4.6	23.1	16.9	18.5	7.7	13.8	1.5	65

回答数以外の数値についての単位は%

(参考)問8-「その他」について

---

主な内容	件数(件)	割合(%)
不満・批判	14	26.9
通院中	11	21.2
アクセスに問題	10	19.2
他所で受診	7	13.5
経済的な問題	5	9.6
必要がない	5	9.6
総計	52	100.0

## 結果まとめ－特定健康診査の認知度等の把握

- 特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目した健康診査で、生活習慣病の予防を図ることを目的としていることを知っていると回答した方は63.6%でした。男性40歳代に関しては「知っている」の割合を「知らない」の割合が上回っています。(問6)
  - 特定健診がメタボリックシンドロームに着目し生活習慣病の予防を目的としていることを知っている方は6割程度にとどまっており、特に40代男性においては知らない方が知っている方の割合を超えています。特定健診が従来の健診とは異なり、健診後のフォローアップを重視した制度であることは引き続き継続して強調していく必要があります。
- 特定健康診査を受診していない理由として、他所で経過観察されている理由を挙げる方(かかりつけ医で定期的に検査している＋職場の健診を受診＋人間ドックを受診＋老人ホーム等に入所・医療機関に入院)は47.1%を占めています。(問7)
- 特定健康診査を受診していない理由として「その他の理由で受診していない」と回答した方の理由として、そのうち受けようと思っていた、忙しかった、という理由を挙げる方がそれぞれ42.9%、42.4%と多く、心配があるときに医療機関を受診できるから、という方が25.9%とそれに次ぎました。(問8)
  - 未受診者のうち、半数が他所で経過観察されておらず、その理由として「そのうち受けようと思っていた」「忙しかった」「心配があるときに医療機関を受診できるから」という、必要に迫られていないから健診を受診しないという態度が目立ちました。

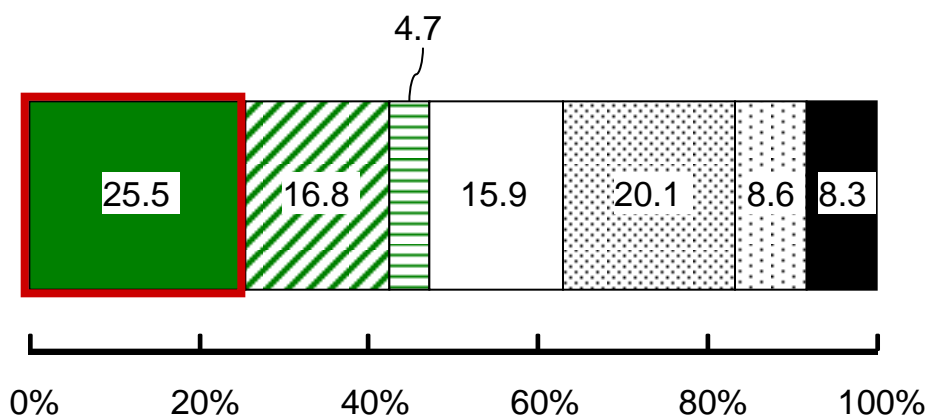
---

結果－特定健康診査の  
受診率向上に向けたニーズの把握

## 結果－問9

八王子市の特定健康診査の受診者を増やすための方策として、健診の重要性を知らせることを挙げるものが25.5%と最多です。がん検診との同時受診、特典の付与がそれに次ぎます。

問9 すべての方にお尋ねします。八王子市の特定健康診査を受診されているのは対象者の45%の方です。より多くの方に受診していただくにはどのようにしたらよいと思われますか。（最もあてはまるもの一つに○をしてください）



- 健診の重要性をお知らせする
- 特典がつくようにする(国民健康保険税の割引や地域商品券の配布など)
- ショッピングモールで受診できるようにする
- 結果がすぐにわかるようにする
- がん検診と同時に受診できるようにする
- その他
- 無回答

## 結果詳細一問9

男女別にみると、男性は、「健診の重要性」→「特典の付与」→「がん検診との同時受診」の順であるのに対し、女性は、「健診の重要性」→「がん検診との同時受診」→「特典の付与」の順になっています。

年代別にみると、男性の40歳代は「特典の付与」が最多であり、男性の他の年代は「健診の重要性」が最多です。女性は40・50歳代において「がん検診との同時受診」が最多であり、60歳代は「健診の重要性」が最多です。

問9 すべての方にお尋ねします。八王子市の特定健康診査を受診されているのは対象者の45%の方です。より多くの方に受診していただくにはどのようにしたらよいと思われますか。（最もあてはまるもの一つに○をしてください）

性別	年代	健診の重要性をお知らせする	特典がつくようにする(国民健康保険税の割引や地域商品券の配布など)	ショッピングモールで受診できるようにする	結果がすぐわかるようにする	がん検診と同時に受診できるようにする	その他	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	25.5	16.8	4.7	15.9	20.1	8.6	8.3	780
男性	計(年代未回答者含む)	29.4	19.6	5.2	11.6	19.3	8.9	6.1	327
	40歳代	20.8	24.5	7.5	11.3	18.9	9.4	7.5	53
	50歳代	22.6	20.2	8.3	11.9	21.4	9.5	6.0	84
	60歳代	35.1	18.1	3.2	11.2	18.6	8.0	5.9	188
女性	計(年代未回答者含む)	23.0	14.5	4.4	19.1	21.0	8.8	9.2	434
	40歳代	15.0	21.0	9.0	10.0	28.0	11.0	6.0	100
	50歳代	17.7	17.0	5.7	22.0	25.5	7.8	4.3	141
	60歳代	30.7	9.5	1.1	21.7	13.8	8.5	14.8	189

回答数以外の数値についての単位は%

(参考)問9-「その他」について

---

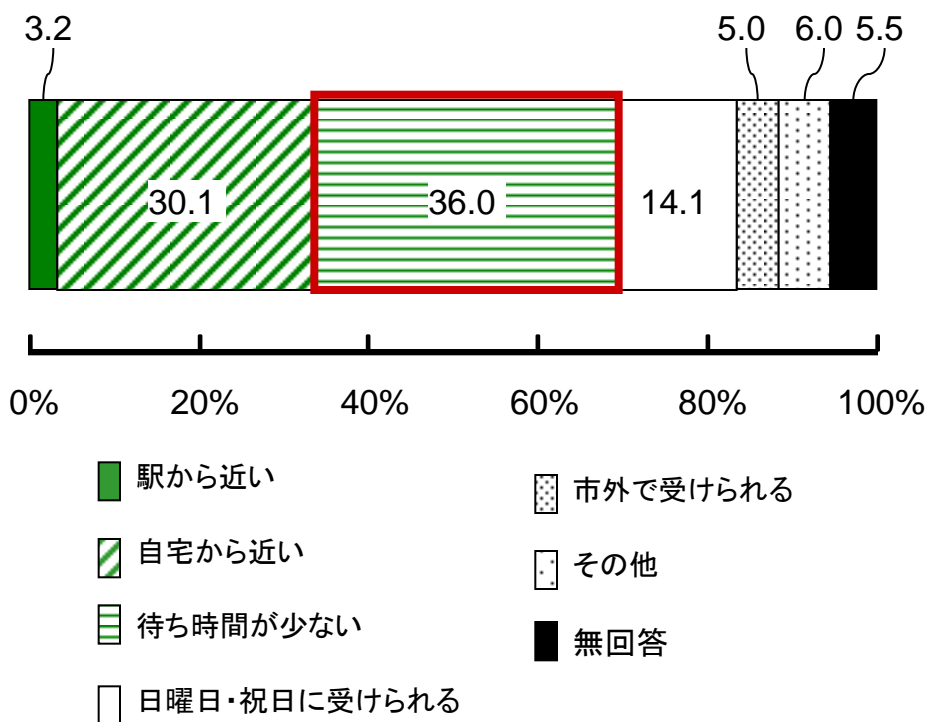
主な内容	件数(件)	割合(%)
感想その他	16	26.7
受診機会の改善	11	18.3
不要	8	13.3
広報の改善	7	11.7
日程の工夫	6	10.0
経済面の改善	3	5.0
時間の短縮	3	5.0
結果通知の改善	2	3.3
心理面	2	3.3
項目の充実	2	3.3
総計	60	100.0



## 結果－問10

特定健康診査を受診しやすい条件として待ち時間が少ないことを挙げる方が36.0%と最多です。自宅から近いことを挙げる方がそれに次ぎます。

問10 あなたが特定健康診査を受診しやすい条件を教えてください。  
(最もあてはまるもの一つに○をしてください)



## 結果詳細一問10

男女別にみると、男女ともに「待ち時間が少ない」ことを受診しやすい条件として挙げる方が最多であり、「自宅から近い」「日曜日・祝日に受けられる」がそれに次ぎます。

年代別にみると、男性は40歳代において「日曜日・祝日に受けられる」が最多であり、他の年代は「待ち時間が少ない」が最多でした。女性は40・50歳代において「待ち時間が少ない」、60歳代は「自宅から近い」が最多となっています。

問10 あなたが特定健康診査を受診しやすい条件を教えてください。  
(最もあてはまるもの一つに○をしてください)

性別	年代	駅から近い	自宅から近い	待ち時間が少ない	日曜日・祝日に受けられる	市外で受けられる	その他	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	3.2	30.1	36.0	14.1	5.0	6.0	5.5	780
男性	計(年代未回答者含む)	2.1	26.3	38.8	18.7	3.7	6.4	4.0	327
	40歳代	0.0	17.0	32.1	41.5	1.9	3.8	3.8	53
	50歳代	3.6	28.6	44.0	11.9	3.6	4.8	3.6	84
	60歳代	2.1	27.1	38.8	15.4	4.3	8.0	4.3	188
女性	計(年代未回答者含む)	4.1	31.6	35.0	10.8	6.2	6.0	6.2	434
	40歳代	2.0	28.0	33.0	17.0	7.0	9.0	4.0	100
	50歳代	3.5	28.4	44.0	10.6	5.7	5.7	2.1	141
	60歳代	5.8	36.5	29.1	7.9	5.8	4.2	10.6	189

回答数以外の数値についての単位は%

(参考)問10-「その他」について

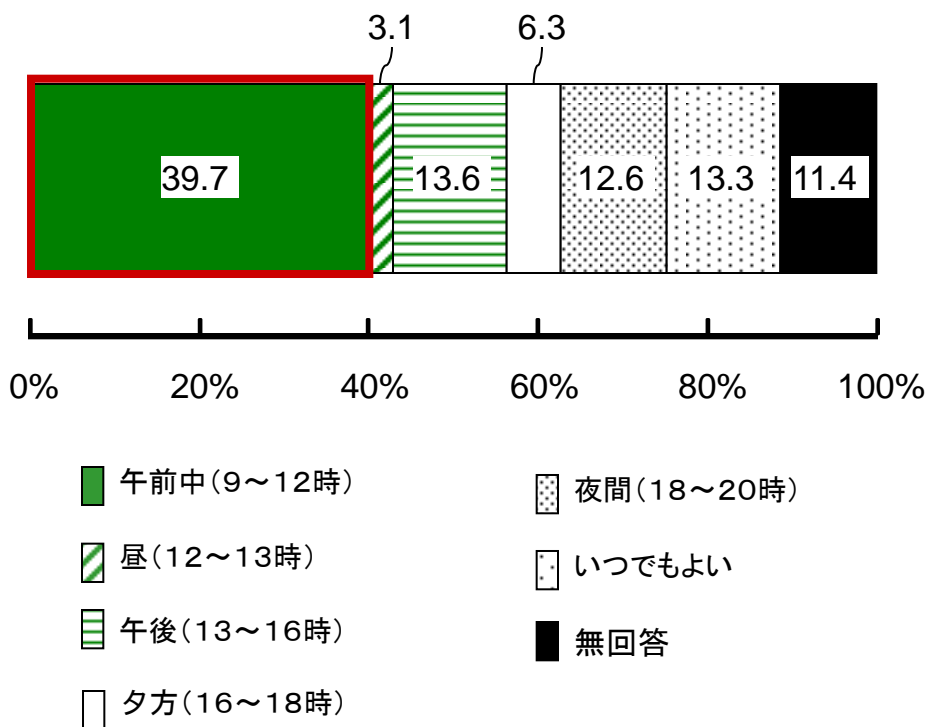
---

主な内容	件数(件)	割合(%)
意思なし	13	33.3
受診機会の改善	9	23.1
予約	5	12.8
他所で受診	5	12.8
同時受診	2	5.1
経済面	2	5.1
広報の改善	1	2.6
その他	2	5.1
総計	39	100.0

## 結果－問11

平日において、特定健康診査を最も受診しやすい時間帯として午前中と回答する方が39.7%と最多です。

問11 あなたが特定健康診査を最も受診しやすい平日の時間帯を教えてください。  
(一つに○をしてください)



## 結果詳細一問11

男女別にみると、男女ともに最も受診しやすい平日の時間帯として午前中を挙げる方が最多であり、夜間がそれに次ぎます。

年代別にみると、男性は40歳代において夜間が最多であり、他の年代は午前中が最多となっています。女性は全年代ともに午前中が最多です。

問11 あなたが特定健康診査を最も受診しやすい平日の時間帯を教えてください。  
(一つに○をしてください)

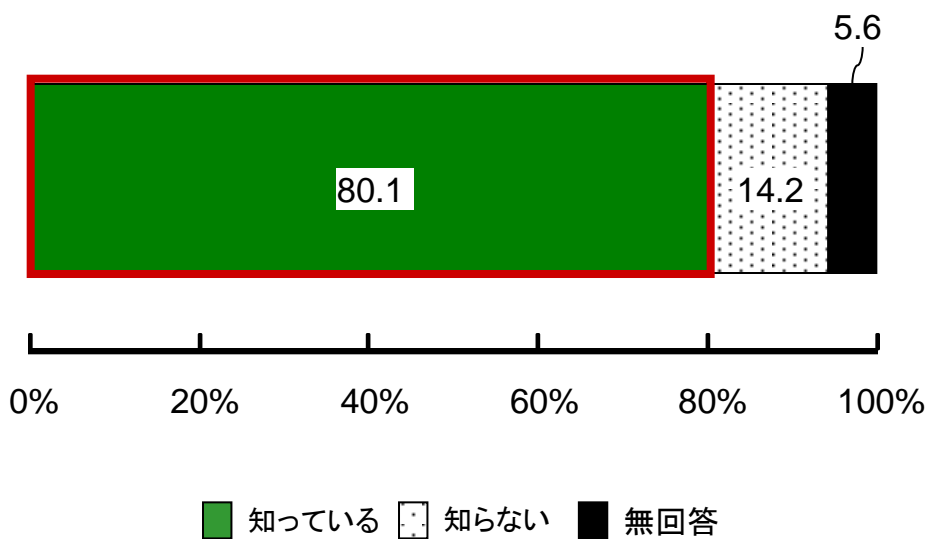
性別	年代	午前中 (9～12時)	昼 (12～13時)	午後 (13～16時)	夕方 (16～18時)	夜間 (18～20時)	いつでもよい	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	39.7	3.1	13.6	6.3	12.6	13.3	11.4	780
男性	計(年代未回答者含む)	37.6	1.8	11.3	6.4	18.7	14.4	9.8	327
	40歳代	24.5	1.9	3.8	5.7	43.4	13.2	7.5	53
	50歳代	40.5	1.2	9.5	10.7	16.7	13.1	8.3	84
	60歳代	39.9	2.1	14.4	4.3	12.8	15.4	11.2	188
女性	計(年代未回答者含む)	41.5	4.1	15.7	6.5	8.3	12.7	11.3	434
	40歳代	38.0	7.0	12.0	5.0	17.0	12.0	9.0	100
	50歳代	38.3	3.5	18.4	7.8	11.3	9.9	10.6	141
	60歳代	46.0	3.2	15.9	5.8	1.1	14.8	13.2	189

回答数以外の数値についての単位は%

## 結果－問12

特定健康診査は無料で受診できることを知っている方は80.1%を占めています。

問12 特定健康診査は、無料で受診できることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)



## 結果詳細一問12

男女別にみると、男性よりも女性の方が「知っている」と回答する方の割合が多くなっています。さらに年代別にみると、男女ともに40歳代において「知っている」と回答する方が最も少なくなっています。

問12 特定健康診査は、無料で受診できることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)

性別	年代	知っている	知らない	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	80.1	14.2	5.6	780
男性	計(年代未回答者含む)	79.8	15.6	4.6	327
	40歳代	75.5	24.5	0.0	53
	50歳代	81.0	13.1	6.0	84
	60歳代	80.9	13.8	5.3	188
女性	計(年代未回答者含む)	81.8	13.1	5.1	434
	40歳代	79.0	18.0	3.0	100
	50歳代	80.9	15.6	3.5	141
	60歳代	83.6	9.0	7.4	189

回答数以外の数値についての単位は%

## 結果まとめ－特定健康診査の受診率向上に向けたニーズの把握

- 八王子市の特定健康診査の受診者を増やすための方策として、健診の重要性を知らせることを挙げる方が25.5%と最多でした。がん検診との同時受診、特典の付与がそれに次いでいます。男女別にみると、男性は「健診の重要性」→「特典の付与」→「がん検診との同時受診」の順であるのに対し、女性は「健診の重要性」→「がん検診との同時受診」→「特典の付与」の順でした。（問9）
  - 未受診者にもかかわらず、健診の重要性を知らせることを挙げる方が多い状況は、そのように回答する本人にとっても健診の重要性が伝わっていない現状を示唆しています。また、男性に比べると女性の方ががん検診との同時受診を強く望んでおり、この施策をとった際女性の受診者が増えることが予想されます。
- 特定健康診査を受診しやすい条件として待ち時間が少ないことを挙げる方が36.0%と最多でした。自宅から近いことを挙げる方がそれに次いでいます。（問10）
  - 病院で受診するイメージが強いせい、待ち時間の少なさを挙げる方が多くなっています。4年間全く受診していない方の回答であることを考えると、かつて一度は受診したものの待ち時間の長さで辟易してその後の受診を辞めたケースも多いのではないかと考えられます。
- 平日において、特定健康診査を最も受診しやすい時間帯として午前中と回答する方が39.7%と最多でした。ただし性年代別にみると、男性40歳代のみ夜間が最多でした。（問11）
  - 40代男性のみ他の層と傾向が異なります。この層の受診率を上げる場合は注意する必要があります。
- 特定健康診査は無料で受診できることを知っている方は80.1%を占めています。（問12）
  - 特定健康診査の理由として、お金がかかるから受診しない、という誤解がある可能性は低くなっています。また無料であることを強調しても未受診者のうち8割には響かないことが予想されます。



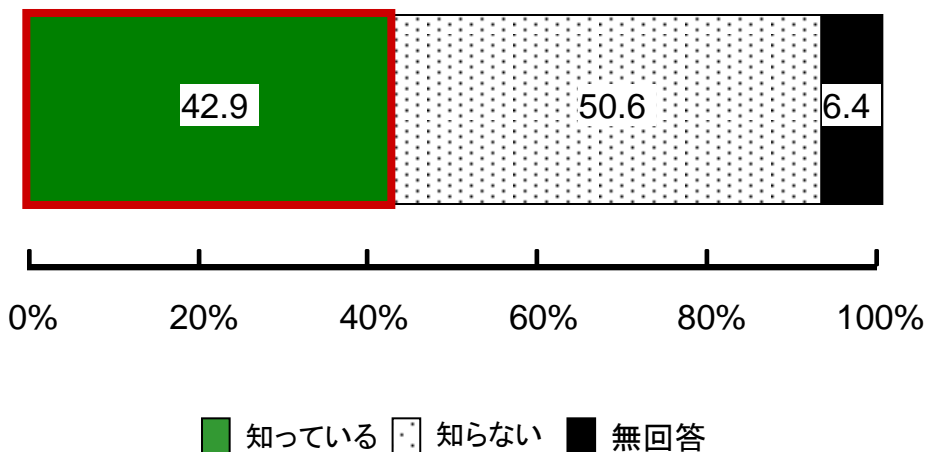
---

結果－特定保健指導の認知度等の把握

## 結果－問13

特定保健指導について、メタボリックシンドロームを対象に食生活や運動の面などから改善のための支援を行うものであることを知っている方は42.9%であり、知らない方(50.6%)を下回っています。

問13 特定保健指導は、特定健康診査によりメタボリックシンドロームと判定された方を対象に保健師、管理栄養士といった専門職が食生活や運動の面などから改善のための支援を行うものであることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)



## 結果詳細一問13

男女別にみると、女性は男性に比べて「知っている」と回答している方の割合が多くなっています。

年代別にみると、男女ともに40歳代において「知っている」と回答している方の割合が最も少なく、男性においては「知っている」と回答している方は3割未満です。

問13 特定保健指導は、特定健康診査によりメタボリックシンドロームと判定された方を対象に保健師、管理栄養士といった専門職が食生活や運動の面などから改善のための支援を行うものであることをご存知ですか。（どちらかに○をしてください）

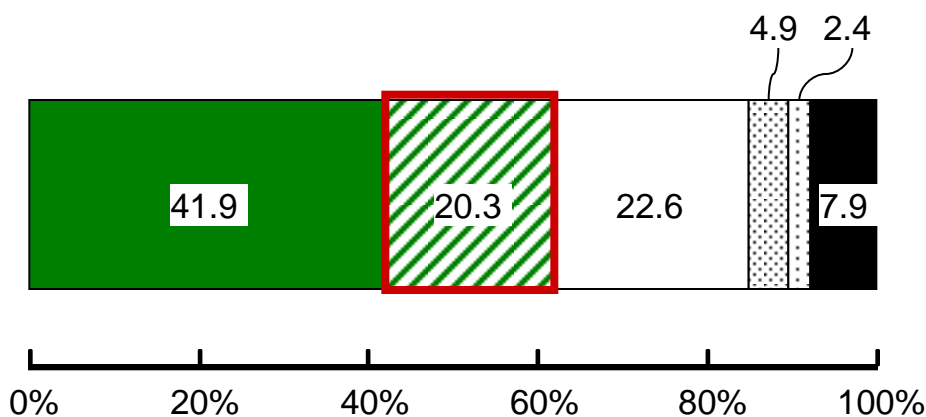
性別	年代	知っている	知らない	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	42.9	50.6	6.4	780
男性	計(年代未回答者含む)	41.0	53.5	5.5	327
	40歳代	26.4	71.7	1.9	53
	50歳代	44.0	48.8	7.1	84
	60歳代	44.1	50.0	5.9	188
女性	計(年代未回答者含む)	45.9	48.4	5.8	434
	40歳代	38.0	59.0	3.0	100
	50歳代	44.0	52.5	3.5	141
	60歳代	50.8	40.2	9.0	189

回答数以外の数値についての単位は%

## 結果－問14－1

特定保健指導の内容について一人ひとりの生活背景に合わせた保健指導を望む方が41.9%と最多です。一方、一般的な食事や運動についての保健指導でもよいと回答している方も20.3%を占めています。

問14 (内容)もし、あなたが特定保健指導の対象者となった場合、どのような特定保健指導ならご利用したいと思われますか。



- 一人ひとりの生活背景に合わせた保健指導
- 一般的な食事や運動についての保健指導
- 特定保健指導の内容がわからないため判断できない
- 特定保健指導は受けたくない
- その他
- 無回答

## 結果詳細一問14-1

男女別にみると、一人ひとりの生活背景に合わせた保健指導を望む方の割合は女性の方が多くなっています。

年代別にみると、一人ひとりの生活背景に合わせた保健指導を望む方の割合は、男女ともに40歳代が最多となっています。

問14 (内容)もし、あなたが特定保健指導の対象者となった場合、どのような特定保健指導ならご利用したいと思われますか。

性別	年代	一人ひとりの生活背景に合わせた保健指導	一般的な食事や運動についての保健指導	特定保健指導の内容がわからないため判断できない	特定保健指導は受けたくない	その他	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	41.9	20.3	22.6	4.9	2.4	7.9	780
男性	計(年代未回答者含む)	38.5	22.0	26.3	4.9	2.4	5.8	327
	40歳代	39.6	13.2	39.6	1.9	1.9	3.8	53
	50歳代	36.9	25.0	19.0	8.3	3.6	7.1	84
	60歳代	38.8	22.9	26.1	4.3	2.1	5.9	188
女性	計(年代未回答者含む)	45.6	19.1	19.6	5.1	2.5	8.1	434
	40歳代	48.0	15.0	19.0	10.0	3.0	5.0	100
	50歳代	46.1	22.0	19.9	4.3	2.8	5.0	141
	60歳代	43.9	19.0	19.6	3.2	2.1	12.2	189

回答数以外の数値についての単位は%

(参考)問14-1-「その他」について

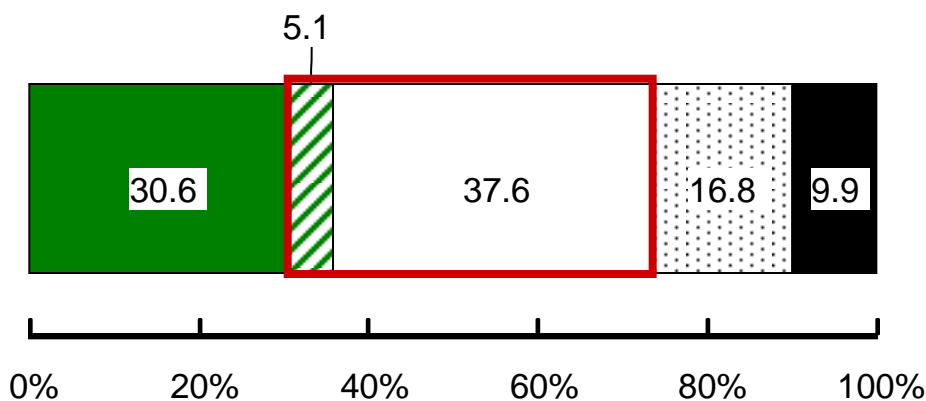
---

主な内容	件数(件)	割合(%)
手段について	5	35.7
不要	4	28.6
内容について	2	14.3
その他	3	21.4
総計	14	100.0

## 結果－問14－2

特定保健指導について、他の対象者と一緒に受けてもよいと回答している方(自分だけでなく他の対象者と一緒に受けたい+自分1人だけで受けてもよいし、他の対象者と一緒に受けてもよい)は42.7%となっており、自分1人で受けたいと回答している方(30.6%)を上回っています。

問14 (人数)もし、あなたが特定保健指導の対象者となった場合、どのような特定保健指導をご利用したいと思われますか。



- 自分1人で受けたい
- 自分だけでなく他の対象者と一緒に受けたい
- 自分1人だけで受けてもよいし、他の対象者と一緒に受けてもよい
- 特定保健指導の内容がわからないため判断できない
- 無回答

## 結果詳細 一問14-2

男女別にみると、他の対象者と一緒に受けてもよいと回答している方(自分だけでなく他の対象者と一緒に受けたい+自分1人だけで受けてもよいし、他の対象者と一緒に受けてもよい)の割合はほぼ同率です(男性43.1%、女性43.3%)。

年代別にみると他の対象者と一緒に受けてもよいと回答している方は男女ともに60歳代において最多となっています。また男性の40歳代は半数近く(49.1%)が自分1人で受けたいと回答しています。

問14 (人数)もし、あなたが特定保健指導の対象者となった場合、どのような特定保健指導ならご利用したいと思われますか。

性別	年代	自分1人で受けたい	自分だけでなく他の対象者と一緒に受けたい	自分1人だけで受けてもよいし、他の対象者と一緒に受けてもよい	特定保健指導の内容がわからないため判断できない	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	30.6	5.1	37.6	16.8	9.9	780
男性	計(年代未回答者含む)	30.0	5.2	37.9	19.0	8.0	327
	40歳代	49.1	1.9	28.3	17.0	3.8	53
	50歳代	36.9	1.2	32.1	20.2	9.5	84
	60歳代	21.8	8.0	43.1	18.6	8.5	188
女性	計(年代未回答者含む)	32.0	5.3	38.0	14.7	9.9	434
	40歳代	37.0	3.0	36.0	18.0	6.0	100
	50歳代	39.7	5.7	30.5	17.0	7.1	141
	60歳代	23.3	6.3	45.0	11.1	14.3	189

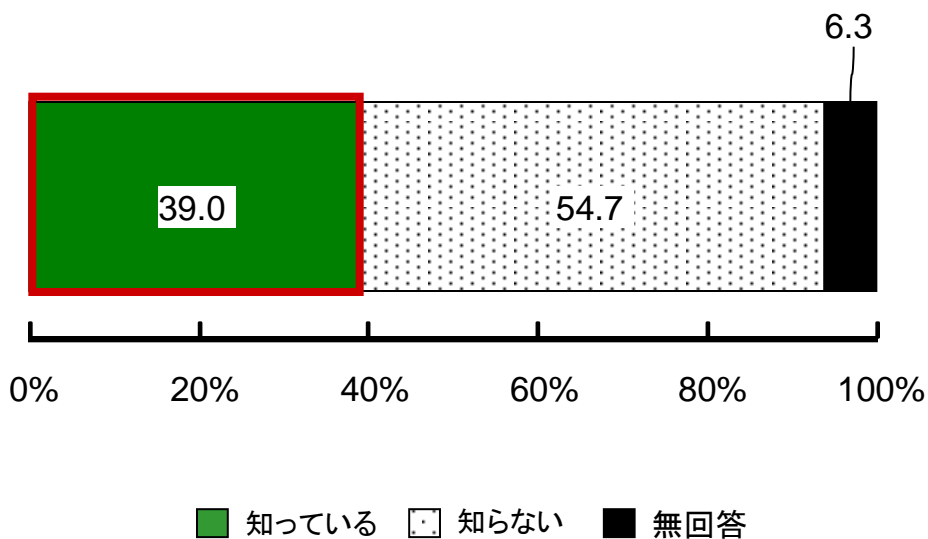
回答数以外の数値についての単位は%



## 結果－問15

特定保健指導が無料で利用できることを知っている方は39.0%です。

問15 特定保健指導は、無料でご利用できることをご存知ですか。  
(どちらかに○をしてください)



## 結果詳細一問15

男女別にみると、特定保健指導が無料で利用できることを「知っている」方の割合はわずかに女性の方が高くなっています(男性39.1%、女性39.6%)。

年代別にみると、男女ともに年代が上がるごとに「知っている」方の割合は増加するものの、男性の40歳代においては17.0%と少なくなっています。

問15 特定保健指導は、無料でご利用できることをご存知ですか。  
(どちらかに○をしてください)

性別	年代	知っている	知らない	無回答	回答数
全体	(性・年代未回答者含む)	39.0	54.7	6.3	780
男性	計(年代未回答者含む)	39.1	55.7	5.2	327
	40歳代	17.0	81.1	1.9	53
	50歳代	41.7	51.2	7.1	84
	60歳代	44.7	50.0	5.3	188
女性	計(年代未回答者含む)	39.6	54.6	5.8	434
	40歳代	30.0	67.0	3.0	100
	50歳代	39.7	56.7	3.5	141
	60歳代	44.4	46.6	9.0	189

回答数以外の数値についての単位は%

## 結果まとめ－特定保健指導の認知度等の把握

- 特定保健指導について、メタボリックシンドロームを対象に食生活や運動の面などから改善のための支援を行うものであることを知っている方は42.9%であり、知らない方(50.6%)を下回っています。(問12)
  - 特定健康診査に比べると、特定保健指導はその内容が認知されていません。
- 特定保健指導の内容について一人ひとりの生活背景に合わせた保健指導を望む方が41.9%と最多となっています。一方、一般的な食事や運動についての保健指導でもよいと回答している方も20.3%を占めています。(問13)
  - 一般的な食事や運動についての保健指導でよい、という層については情報提供を充実させることで対応が可能なのではないかと考えられます。
- 特定保健指導について、他の対象者と一緒に受けてもよいと回答している方(自分だけでなく他の対象者と一緒に受けてい+自分1人だけで受けてもよいし、他の対象者と一緒に受けてもよい)は42.7%であり、自分1人で受けていと回答している方(30.6%)を上回っています。年代別にみると他の対象者と一緒に受けてもよいと回答している方は男女ともに60歳代において最多となっています。また男性の40歳代は半数近く(49.1%)が自分1人で受けていと回答しています。(問14)
  - 他の対象者と一緒に受けてもよいと回答している方が一定数を占めており、今後保健指導の実施率を向上させていく上ではグループ支援による対応も有効ではないかと考えられます。ただし、40歳代(特に男性)は自分1人だけで受けていという志向が強くなっています。
- 特定保健指導が無料で利用できることを知っている方は39.0%でした。年代別にみると、男女ともに年代が上がるごとに「知っている」方の割合は増加するものの、男性の40歳代においては17.0%と少なくなっています。(問15)
  - 特定健康診査は特定保健指導というフォローアップに重点をおいていることが特色の一つですが、十分に周知されていない状況が伺えます。

(参考資料)  
送付状及び調査票

# アンケート送付状

特定健康診査、特定保健指導等アンケート調査へのご協力のお願い

日頃から、八王子市の保健事業にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、平成20年度より行っている特定健康診査、特定保健指導について、現在、平成25年度から29年度の第二期実施計画を策定しております。つきましては、市民の皆様へのアンケート調査を実施し、第二期計画の策定に生かしていくとともに、特定健康診査・特定保健指導の受診率・利用率の向上を目指して活用していきたいと考えております。

本アンケート調査票は、市の国民健康保険加入者の中から40～74歳の特定健康診査対象者のうち、昨年までに市の健診を受けられていない3000人を無作為で選り、送付させていただいております。

お忙しいところとても恐縮ですが、平成24年9月30日までにご回答くださいますようお願いのほどよろしくお願い申し上げます。

また、ご協力くださいました方のうち抽選で500名様に、お礼といたしまして粗品ではございますが、腹囲測定用のメジャーを11月末までに贈らせていただきます。

※なお、本アンケート調査において収集した個人情報につきましては、統計情報の作成及びお礼（メジャー）の送付のみに利用させていただき、その他に利用することは一切ありません。

平成24年9月

八王子市 健康福祉部 地域医療推進課

042-620-7428（直通）

# 八王子市国民健康保険 特定健康診査、特定保健指導等 アンケート調査票

今後の特定健康診査、特定保健指導のために、  
アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

## 《調査票のご記入にあたって》

- ① 平成24年9月1日時点のご本人様（封筒のあて名の方）の状況をお答えください。
- ② ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れて、  
**9月30日（日）** までに  
郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。
- ③ 今回収集した個人情報につきましては、統計情報の作成及びお礼（メジャー）の送付のみに利用させていただきます。
- ④ この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

[お問合せ先]

八王子市 健康福祉部 地域医療推進課

電話：042-620-7428（直通）

## [1] ご本人様についてお尋ねします

性別と年齢をご回答ください。

性別(どちらかに○をしてください)	1 男性	2 女性
年齢	<input type="text"/>	<input type="text"/> 歳

## [2] 健康状態や健康意識に関することについてお尋ねします

問1 現在の健康状態についてご回答ください。(一つに○をしてください)

1. とても健康だと思う
2. 健康だと思う
3. あまり健康だと思わない
4. 健康だと思わない

問2 過去1年間に病気やケガなどで、何回くらい医療機関にかかりましたか。(一つに○をしてください)

1. 過去1年間、1回も医療機関を受診していない
2. 過去1年間、何回か医療機関を受診した(定期的な受診ではない)
3. 定期的に医療機関を受診している(入院中も含む)

問3 健康づくりのために注意されていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)


1. 栄養(食事)に注意している
2. 運動をするようにしている
3. 休養(睡眠含む)をとるようにしている
4. たばこを吸わないようにしている
5. アルコールを控えるようにしている
6. トクホ(特定保健用食品)やサプリメント(栄養補助等を目的とした健康食品)などを使用している
7. 特に意識していない
8. その他( )


問4 メタボリックシンドロームにより、生活習慣病が発症する危険性が高くなることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)

1. 知っている
2. 知らない

問5 メタボリックシンドロームは、食生活や運動の面などから改善を行えば、解消できる可能性が高くなることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)

1. 知っている
2. 知らない

 メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に加え、血圧・血糖・脂質のリスクが重なった状態をいいます。

 生活習慣病とは、長年の生活習慣が原因で発症する可能性がある病気の総称です。代表的な病気に高血圧症や糖尿病、心臓病などがあります。




[3] 特定健康診査に関することについてお尋ねします

問6 特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目した健康診査で、生活習慣病の予防を図ることを目的としていることをご存知ですか。  
(どちらかに○をしてください)

1. 知っている
2. 知らない

問7 市が実施した特定健康診査を受診されなかった理由についてご回答ください。(一つに○をしてください)

1. かかりつけ医で定期的に検査しているから
2. 職場の健診を受診したから
3. 人間ドックを受診したから
4. 老人ホーム等に入所・医療機関に入院しているから
5. その他の理由で受診しなかった

問8へ 

問8 問7で「5. その他の理由で受診しなかった」と回答された方にお尋ねします。受診しなかった理由についてご回答ください。  
(あてはまるもの三つまでに○をしてください)


1. 心配があるときに医療機関を受診できるから
2. そのうち受けようと思っていたから
3. 忙しかったから
4. どこにいけば受診できるのかわからなかったから
5. 特定健康診査が行われていることを知らなかったから
6. 健診を受けることが面倒だから
7. 結果が悪いと不安になるから
8. 健康に自信があるから
9. 特定健診・特定保健指導の制度に疑問を持っているから
10. その他 ( )

問9 すべての方にお尋ねします。八王子市の特定健康診査を受診されているのは対象者の45%の方です。より多くの方に受診していただくにはどのようにしたらよいと思われますか。  
(最もあてはまるもの一つに○をしてください)

1. 健診の重要性をお知らせする
2. 特典がつくようにする(国民健康保険税の割引や地域商品券の配布など)
3. ショッピングモールで受診できるようにする
4. 結果がすぐにわかるようにする
5. がん検診と同時に受診できるようにする
6. その他 ( )

問10 あなたが特定健康診査を受診しやすい条件を教えてください。  
(最もあてはまるもの一つに○をしてください)

1. 駅から近い
2. 自宅から近い
3. 待ち時間が少ない
4. 日曜日・祝日に受けられる
5. 市外で受けられる
6. その他 ( )

 特定健康診査を受けられる約190の医療機関のうち、約150の医療機関は土曜日も受けられます。

問11 あなたが特定健康診査を最も受診しやすい平日の時間帯を教えてください。(一つに○をしてください)

1. 午前中 (9～12時)
2. 昼 (12～13時)
3. 午後 (13～16時)
4. 夕方 (16～18時)
5. 夜間 (18～20時)
6. いつでもよい

問12 特定健康診査は、無料で受診できることをご存知ですか。  
(どちらかに○をしてください)

1. 知っている
2. 知らない



八王子市の特定健康診査の自己負担は無料ですが、同じ項目を自費で受けると約1万円必要です。

[4] 特定保健指導に関することについてお尋ねします

問13 特定保健指導は、特定健康診査によりメタボリックシンドロームと判定された方を対象に保健師、管理栄養士といった専門職が食生活や運動の面などから改善のための支援を行うものであることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)

1. 知っている
2. 知らない

問14 もし、あなたが特定保健指導の対象者となった場合、どのような特定保健指導ならご利用したいと思われませんか。

《内容》(一つに○をしてください)

1. 一人ひとりの生活背景に合わせた保健指導
2. 一般的な食事や運動についての保健指導
3. 特定保健指導の内容がわからないため判断できない
4. 特定保健指導は受けたくない
5. その他 ( )

《人数》(一つに○をしてください)

1. 自分1人で受けたい
2. 自分だけでなく他の対象者と一緒に受けたい
3. 自分1人だけで受けてもよいし、他の対象者と一緒に受けてもよい
4. 特定保健指導の内容がわからないため判断できない

問15 特定保健指導は、無料でご利用できることをご存知ですか。(どちらかに○をしてください)

1. 知っている
2. 知らない

## [5] ご意見など

特定健康診査、特定保健指導のことや生活習慣病の予防などについて、ご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

-----
-----
-----
-----

## [6] アンケート番号のご記入（メジャーを希望される方のみ）

アンケートにご記入いただいた御礼の発送にあたって、アンケート番号のご記入をお願い致します。

なお、アンケート番号から把握できる個人情報につきましては統計情報の作成及び御礼の発送のみに利用させていただきます。

アンケート番号は、同封の送付状の宛名下にある4ケタの番号をご記入ください。

アンケート番号

--	--	--	--

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて9月30日（日）までに郵便ポストにご投函くださいますようお願い申し上げます（切手は不要です）。

今年度も特定健康診査は平成25年1月31日まで実施しています。

ぜひご自身の健康管理にお役立てください。